



ファームウェアバージョン:	R1.01.B008	
ハードウェアバージョン:	DGS-1520-28	A1
	DGS-1520-28MP	A1
	DGS-1520-52	A1
	DGS-1520-52MP	A1
発行日:	2024/3/29	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード	2
Web GUI を使用したアップグレード	4
追加機能：	7
MIB および D-View モジュールの変更点：	7
コマンドラインインタフェースの変更点：	7
修正した問題点：	7
既知の問題：	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R1.01.B008	2024/3/29	DGS-1520-28	A1
		DGS-1520-28MP	A1
		DGS-1520-52	A1
		DGS-1520-52MP	A1

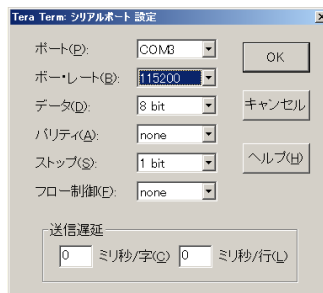
アップグレード手順：

アップグレードを行うには、CLI（シリアルポート）を使用する、もしくは Web GUI を使用して行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用したアップグレード

1. スイッチの RS-232 シリアルポート（コンソールポート）と PC を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**



2. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは「admin」です。
3. ログイン後は下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
configure terminal	グローバルコンフィグモードに入ります。
exit	現在のコンフィグモードを終了し、最後に使用したモードに戻ります。
copy tftp: //LOCATION/SOURCE-URL flash: PATH-FILE-NAME	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
boot image	次回の起動時にイメージファイルとして使用されるファイルを指定します。
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
show version	スイッチのバージョンを表示します。

以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例)

(1) ユーザ名とパスワードを入力してログインします。

ユーザ名とパスワードの初期値は「admin」です。

(2) スイッチにファームウェアをダウンロードします。

```
Switch# copy tftp: //10.90.90.100/DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had flash:
DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had
```

Address of remote host [10.90.90.100]?

Source filename [DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had]?

Destination filename [DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had]?

Accessing tftp://10.90.90.100/DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had...

Transmission start...

Transmission finished, file length 15708880 bytes.

Please wait, programming flash..... Done.

Please wait, programming flash for language files Done.

(3) ブートイメージを指定します。

Switch#

Switch#**configure terminal**

Switch(config)#**boot image DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had**

Switch(config)#**exit**

Switch#**show boot**

Unit 1

Boot image: /c:/ boot image DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had

Boot config: /c:/config.cfg

(4) スイッチを再起動します。

Switch#**reboot**

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) **y**

Please wait, the switch is rebooting...

注意：

スイッチのアップグレード中及び再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

(5) バージョンがアップグレードされていることを確認します。

Switch#**show version**

System MAC Address: xx- xx - xx - xx - xx - xx

Unit ID	Module Name	Versions
1	DGS-1520-52MP	H/W:A1 Bootloader: 1.00.011 Runtime: 1.01.B008

mi

Web GUI を使用したアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. TFTP サーバ/SFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合は、PC 上で TFTP サーバ/SFTP サーバを有効にします。(必ずご使用の PC に TFTP サーバ/SFTP サーバのインストールを行っておいてください。)
3. お客様の PC とスイッチを RJ-45 ネットワークケーブルで接続します。
PC とスイッチの IP アドレスは同じサブネット内に設定してください。
(例：スイッチの IP アドレスが 10.90.90.90 の場合、PC は 10.90.90.100 など)
4. スwitchの IP アドレス（初期値：10.90.90.90）をブラウザのアドレスバーに入力し、Web GUI にアクセスします。
5. Web GUI にログインします。
「ユーザ名」と「パスワード」の初期値は「admin」です。
6. ファームウェアアップグレードは、**[ツール] > [ファームウェアアップグレード&バックアップ]** から実行します。アップグレードの方法は「HTTP」「TFTP」「SFTP」から選択します。

HTTP 経由でアップグレードを行う場合

[ツール] > [ファームウェアアップグレード&バックアップ] > [HTTP からファームウェアアップグレード] を選択します。

- 送信元ファイル：「ファイルを選択」をクリックし、ファームウェアファイルを選択します。
- 送信先ファイル：フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。（例：c:/DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had）

TFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合

[ツール] > [ファームウェアアップグレード&バックアップ] > [TFTP からファームウェアアップグレード] を選択します。

The screenshot shows a web-based configuration window titled "TFTPからファームウェアアップグレード". It has three main input sections: "TFTPサーバのIP" with a text box and radio buttons for "IPv4" (selected) and "IPv6"; "送信元ファイル" (Send File) with a text box labeled "64 chars"; and "送信先ファイル" (Receive File) with a text box labeled "64 chars". A "更新" (Update) button is located at the bottom right.

- TFTP サーバの IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- 送信元ファイル: TFTP サーバ上に保存した、ダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します。
- 送信先ファイル: フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。(例: c:/DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had)

SFTP サーバ経由でアップグレードを行う場合

[ツール] > [ファームウェアアップグレード&バックアップ] > [SFTP からファームウェアアップグレード] を選択します。

The screenshot shows a web-based configuration window titled "SFTP からファームウェアアップグレード". It includes fields for "SFTPサーバIP" (with IPv4/IPv6 radio buttons), "認証方式" (Authentication Method) set to "パスワード" (Password), "ユーザ名" (Username) labeled "32 chars", "パスワード" (Password) labeled "15 chars", "送信元ファイル" (Send File) labeled "64 chars", and "送信先ファイル" (Receive File) labeled "64 chars". A "更新" (Update) button is at the bottom right.

- SFTP サーバ IP: IPv4 もしくは IPv6 を選択し、SFTP サーバの IP アドレスを入力します。
- ユーザ名: SFTP サーバのユーザ名を入力します。
- パスワード: SFTP サーバのパスワードを入力します。
- 送信元ファイル: SFTP サーバ上に保存した、ダウンロード済みのファームウェアファイル名を入力します
- 送信先ファイル: フラッシュドライブにファームウェアをロードするために、パスとファイル名を入力します。(例: c:/DGS1520_Ax_FW1_01_B008.had)

7. 「更新」をクリックします。

8. ステータス画面が表示されます。
アップロード完了後に「完了」と表示されることを確認します。

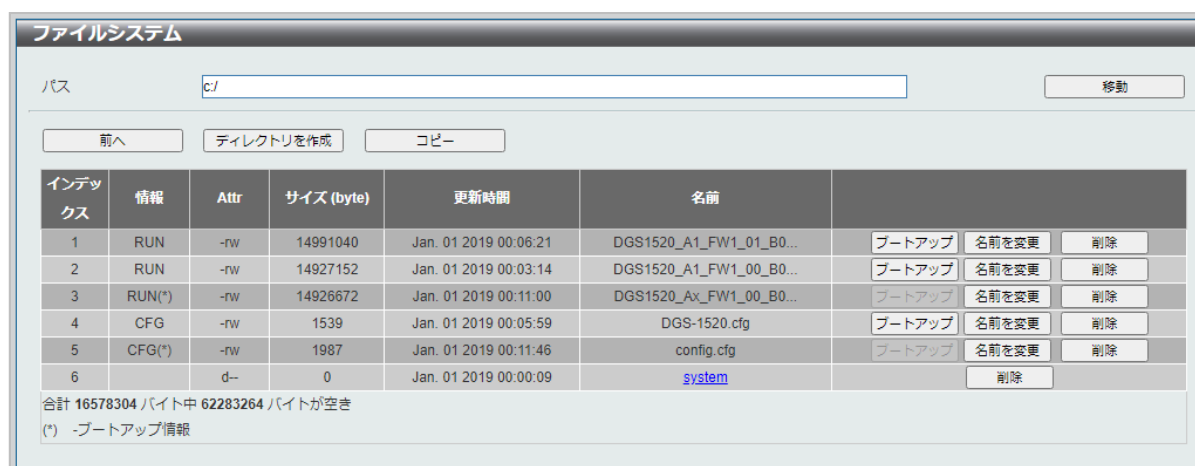
※使用プロトコルによっては、ステータス画面がポップアップで表示されますので、「完了」ステータス確認後、画面を閉じてください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

9. 次回のスイッチリブート時にブートアップを行うイメージを選択するために、**[管理] > [ファイルシステム]**の順にクリックします。

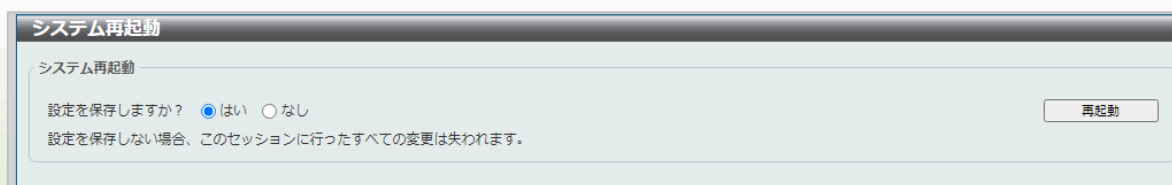


10. ドライブ欄の [C:](#) をクリックします。
11. 該当するイメージの行にある「ブートアップ」ボタンをクリックし、ブートアップファイルとして設定します。



※「情報」欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

12. ブートアップファイルの指定に成功すると「成功」と表示されます。画面の「OK」をクリックします。
13. **[ツール] > [システム再起動]**をクリックし、スイッチを再起動します。
14. 以下の画面で「はい」を選択し「再起動」をクリックします。
確認メッセージが表示されるので、「OK」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。



注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

15. スwitchの再起動後にログインし、ファームウェアのバージョンがアップグレードされていることを確認します。

追加機能：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.01.B008	特になし

MIB および D-View モジュールの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.01.B008	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

ファームウェアバージョン	変更点
R1.01.B008	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R1.01.B008	<ol style="list-style-type: none"> 1. LACP メンバポートで異なるポート速度に設定している場合、ポートのステータスが適切に変更されない場合がある問題を修正致しました。 2. WebGUI において、DHCPv6 プールのプレフィックス設定時にエラーメッセージが表示される問題を修正致しました。 3. 同一の DHCPv6 Solicit メッセージに対して返される Advertise メッセージ内のアドレスが異なる問題を修正致しました。 4. RIP 機能のパッシブインタフェースでルーティングエントリが学習されない問題を修正致しました。 5. DHCP リレーが有効な場合に、DHCP スヌーピングが適切に動作しない場合がある問題を修正致しました。 6. ポート速度が 2.5Gbps の場合、LACP のステータスが hot-sby のままとなる問題を修正致しました。 7. SSH の脆弱性に関する修正を行いました。 8. 拡張 IP ACL 作成時に不正なエラーメッセージが表示される問題を修正致しました。 9. "show mac-address-table"の実行によりメモリリークが発生する問題を修正致しました。 10. スタック構成でご利用の場合に、NLB FDB 設定においてユニキャスト MAC アドレスの登録・削除に失敗する問題を修正致しました。 11. スタック構成でご利用の場合に、NLB ユニキャスト FDB 設定に基づくパケット処理が適切に動作しない問題を修正致しました。 12. MGMT ポートポートを持つモデルにおいて、スタック構成でご利用の場合に、MGMT ポートから不正な ARP Request が送信される場合がある問題を修正致しました。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">13. WebGUI から Mode ボタンの操作を行った場合の動作がハードウェアボタンと異なる問題を修正致しました。14. ご利用の Web ブラウザにより、VLAN インタフェース画面の「詳細を表示」が正しく表示されない場合がある問題を修正致しました。15. IGMP スヌーピング機能において、Fast Leave を有効にしている場合に機器が再起動する場合がある問題を修正致しました。16. スタック構成で Port Channel をご利用の場合における、スタック間の MAC アドレステーブルの同期処理の改善を行いました。17. NTP の同期処理を改善致しました。18. スタック構成ご利用の場合に、スタックマスタの交代において、DHCP プールの一部の設定が引き継がれない問題を修正致しました。19. SNTP での時刻同期処理を強化致しました。20. IPv4 インタフェース画面における「セカンダリ」項目表示を削除致しました。21. レガシーPD の検出処理を更新し、干渉に対する改善を行いました。 |
|--|---|

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R1.01.B008	1. SFP+スロットについて、不要なオートネゴシエーション情報が表示される問題。

Copyright 2006-2024 D-Link Japan K.K.